

科目担当者氏名 (ふりがな) くらはら むねたか 倉原宗孝		科目担当者連絡先 (メールアドレス)	
連絡責任者氏名 (ふりがな) うさみせいじ 宇佐美誠史		科目設置機関名 岩手県立大学総合政策学部総合政策学科	
授業科目名 地域環境調査実習	科目認定番号 IWKa-140901-0	受講者数 26人	

I. 調査実習に関するコメント

学生が果たした役割や実習全般に対する感想など：盛岡市の教育施設の一つである動物公園を対象にして、その実態、利用状況、改善提案などを行った。実態観察、提案について学生独自の視点もあり有効だった。行政・動物公園関係者にも好評価でよい題材が提供されたと思う。

II. 調査の企画・設計 (デザイン)

1. 調査のテーマ/領域：  
盛岡市動物公園及びそのアクセス環境
2. 調査の内容/概要：  
現地観察、体験 (移動手段)、各種情報の収集
3. 調査の範囲/対象 (量的調査の場合は母集団と標本数及びサンプリングの方法を、質的調査の場合は対象者選定の理由を必ず記入)：各自が独自に動物公園まで公共施設を利用して移動する中での発見・感想をまとめる。現地観察・各情報を通じて評価・課題、改善提案などを行う。
4. 主な調査項目：  
現地観察、体験、ネット等による情報収集

III. データ収集の方法と結果

5. データ収集 (現地調査) の方法：  
動物公園まで公共施設利用により移動する中での発見・感想をまとめる。現地観察・各情報を通じて評価・課題、改善提案などを行う。
6. 調査の実施時期・調査地・調査員の数：  
2014 年 11 月 21 日～12 月 19 日・盛岡市動物公園及び市内交通機関等・26 人
7. 収集したデータの量と質への評価 (量的調査の場合は有効回収票数及び回収率を必ず記入)：  
各データ・提案は関係者にとって従来から考えていたことの確認や今後参考になる有効な内容だった。

IV. データ分析の方法と結果

8. データ分析/解釈の方法：  
独自にデータの解釈は行っていないが参加者・外部関係者の評価から有効と判断される。
9. 調査の成果 (調査から得られた主な知見など)：  
施設関係者の共感、示唆を与えたことは大きい。
10. 報告書刊行の予定と概要：

<記入上の注意点> 1. 調査のテーマ毎に用紙を替えて(3つのテーマを立てて実施した場合は合計3枚に渡って)ご記入下さい。  
2. 最上部の\*印の箇所には数字を(「\*/)」には、報告書が複数枚になる場合のみ、3枚中の1枚目なら1/3とご記入下さい。  
3. 全ての項目について具体的にご記入下さい。但し、1テーマ毎に印刷が必ずA4サイズ1枚に収まるようにして下さい。フォントサイズは変えず(設定してある通りにして)、項目毎に分量に応じて「行の高さ」を変えることで調整していただけましたら幸いです。  
4. 報告書はウェブ上で公開する予定です。また、調査実習情報をDB化する事も検討しています。ご承知置きの上、ご記入下さい。